



Tobacity

市長定例記者会見

令和7年11月25日(火)



Contents

01

避難所における外国人住民受入訓練の実施

02

鳥羽市離島における急患搬送訓練の実施

03

職場体験バスツアーの開催

04

「答志島トロさわら」の伊勢神宮内宮奉納

05

第1回市民真珠セミナーの開催

Contents

06

2025年度 山田優杯 鳥羽・エペフェンシング大会
及びチャンバラフェンシングの実施

07

第7回 丸興山庫蔵寺参道清掃ボランティア活動

08

地域への愛着を基盤とした
学校・地域安全モデル事業防災リレー講座

09

令和7年度人権映画祭
「ケイコ目を澄ませて」の上映

10

鳥羽市ふるさと納税
レビュー投稿キャンペーンの開催

Contents

11

令和7年11月26日会議提出議案

12

「離島医療会議」の開催

13

鳥羽商船高等専門学校
教育・研究環境の整備と学生支援プロジェクト

14

その他

01 避難所における外国人住民受入訓練の実施

1. 概要

○鳥羽市には、585人(10月末現在)の外国人住民が生活しており、その中には日本語が堪能でない人や、地震などの災害の経験がなく、防災に関する知識がほとんどない人もいます。また、言葉・習慣の違いにより、避難所では生活ルールを理解しにくいことから、避難所での受入れがスムーズに行われないことがあります。多様性に配慮した避難所の運営について実践的に学ぶことを目的として、避難所における外国人住民受入訓練を行います。

2. 日時

○令和7年12月13日(土) 13時00分～17時00分

3. 場所

○鳥羽市役所西庁舎4階 大会議室(鳥羽市鳥羽3丁目8-3)

4. 訓練内容

- (1)講義「鳥羽市における避難所の運営について」鳥羽市総務課 防災危機管理室 副室長 澤田 将宏 氏
「災害時における外国人被災者対応について」一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表 田村 太郎 氏
(2)実践「外国人避難者の受入訓練」・避難所受付の設置・避難所ルールの「やさしい日本語」への書き換え・外国人避難者への対応



避難所における 外国人住民受入訓練

鳥羽市には総人口の3.12%を占める512人（令和6年12月末）の外国人住民が生活しています。

大規模災害が起きたら、日本人だけでなく、外国人も被災者になります。その際、言葉・習慣の違いがあり、災害経験のない外国人住民は、より深刻な状況に置かれます。

また、避難所生活ルールが理解しにくいことから避難所での受入れがスムーズに行われないことがあります。

本訓練では、多様性に配慮した避難所の運営について実践的に学びます。



ピクトグラムとやさしい日本語を活用した情報の掲示

日時 2025年12月13日（土） 13：00-17：00

場所 鳥羽市役所西庁舎 4階 大会議室（鳥羽市鳥羽3丁目8-3）

対象 避難所運営に関わる自主防災組織
自治会関係者、消防団、行政職員
鳥羽外国人防災リーダー及び災害時の外国人支援に関心のある方

定員
20人

訓練内容

講義「鳥羽市における避難所の運営について」

講師：鳥羽市総務課 防災危機管理室 澤田 将宏さん

講義「災害時における外国人被災者対応について」

実践「外国人避難者受入訓練」

- ・避難所受付の設置
- ・避難所ルールの「やさしい日本語」への書き換え
- ・外国人避難者への対応（受付・避難所ルールの説明・相談対応など）



田村 太郎さん

講師：一般財団法人ダイバーシティ研究所 田村 太郎さん

お問い合わせ・お申込み：公益財団法人 三重県国際交流財団（MIEF）

TEL：059-223-5006 Fax:059-223-5007 E-MAIL:mief@mief.or.jp

主催：三重県 共催：鳥羽市



申込フォーム

<https://forms.gle/h5MzGRosgTG7gxtA7>

申込方法：①または②の方法でお申込みください。

①右記Googleフォームからお申込みください。



申込フォーム

<https://forms.gle/h5MzGRosgTG7gxtA7>

②下記申込書に必要事項を記入の上、

E-MIAL または FAXで お申込みください。

E-mail :mief@mief.or.jp FAX：059-223-5007

申込締切：12月8日（月）

お名前	(ふりがな)
ご所属 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 自主防災組織 (地区名：) <input type="checkbox"/> 自治会 (地区名：) <input type="checkbox"/> 消防団 (団体名：) <input type="checkbox"/> 自治体(行政機関) <input type="checkbox"/> 鳥羽外国人防災リーダー <input type="checkbox"/> 日本語教室 <input type="checkbox"/> そのほか ()
電話番号	
住所	〒 .
メールアドレス	@

参加者には
防災啓発グッズを
配布します！



お問い合わせ・お申込み

公益財団法人 三重県国際交流財団 (MIEF) 事務担当：伊藤、山本、後藤

〒514-0009 三重県津市羽所町700番地 アスト津3階 (UST-TSU Bldg. 3F)

TEL:059-223-5006 FAX:059-223-5007 MAIL:mief@mief.or.jp

02 鳥羽市離島における急患搬送訓練の実施

1. 概要

○鳥羽市内離島住民等の生命及び身体の安全を確保するため、鳥羽市消防本部及び地元消防団と鳥羽海上保安部の連携強化を図る。
「訓練内容ほか 別添のとおり」

2. 日時

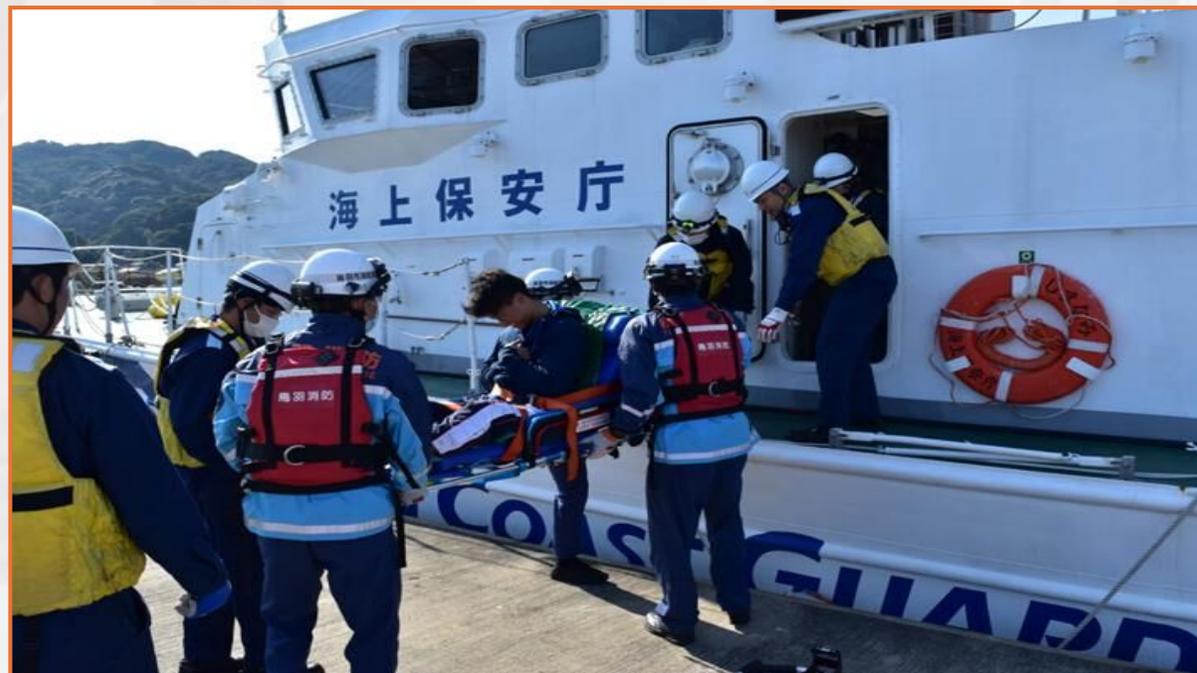
○令和7年12月18日(木) 13時15分～16時00分

3. 場所

○鳥羽市鳥羽一丁目佐田浜
鳥羽海上保安部浮棧橋 ～ 鳥羽市桃取町漁港

4. その他

○鳥羽市消防本部・鳥羽海上保安部・鳥羽市消防団が連携し行う離島急患搬送訓練)
「訓練内容ほか 別添のとおり」



鳥羽市離島における急患搬送訓練（抜粋）

1. 訓練目的

鳥羽市内離島住民等の生命及び身体の安全を確保するため、鳥羽市消防本部及び地元消防団と鳥羽海上保安部の連携強化を図る。

：

4. 訓練参加機関

鳥羽市消防本部、鳥羽海上保安部、鳥羽市消防団桃取分団

5. 訓練概要

県内最大の離島である答志島の**答志町**で急患が発生。

本土側の医療機関に急患搬送が必要であるが、荒天によりチャーター船等が出航困難であることから、鳥羽市消防本部から鳥羽海上保安部に海上搬送の応援要請を行う。

答志島の答志港・答志和具港は高波の影響が大きいため、急患は**桃取港まで地元消防団員が陸路搬送し、救急隊員を乗船させた鳥羽海上保安部所属の巡視船艇に引き継ぎ海上搬送を行う。**

海上搬送後、本土側で待機する救急車に収容し医療機関までの救急搬送を行う。（訓練は救急車収容で終了）

：

03 職場体験バスツアーの開催

1. 概要

○鳥羽高校1年生を対象に、鳥羽市には、製造業、宿泊業、飲食業等さまざまな業種の企業があり、それぞれの企業がどのような環境や仕事を行っているかを知ってもらう機会(市内企業6社を見学するバスツアー)を設け、将来の就労に向けた選択肢の1つとして考えていただきます。
現在、こういった業種で就労するか考える前の鳥羽高校1年生へ向け、市内企業6社を見学するバスツアーを実施し、市内の企業に興味を持ち、将来の就労へ結びつけるための機会を設けます。

2. 日時

○令和7年12月16日(火)

3. 対象者

○鳥羽高校一年生(鳥羽市安楽島町1459)

4. 実施方法

○3班に分かれ、バスまたはジャンボタクシーに乗車し、市内の企業職場を訪問し、職場見学を実施。



<タイムスケジュール>

【1班】・交通手段：中型バス(10～15名)引率2名

出発	到着/出発	到着/出発	到着
9:00	9:15/10:00	10:30/11:30	12:00
鳥羽高校	⇒ 【見学先①】 鳥羽市役所 (鳥羽市鳥羽三丁目1-1)	⇒ 【見学先②】 株式会社大進 (鳥羽市相差町1051) ※見学先は、鳥羽市浦村町148 浦神社近辺	⇒ 鳥羽高校

【2班】・交通手段：ジャンボタクシー2台(10～15名)引率2名

出発	到着/出発	到着/出発	到着
9:00	9:15/10:15	10:30/11:30	12:00
鳥羽高校	⇒ 【見学先①】 シンフォニアテクノロジー 株式会社 (鳥羽市鳥羽1丁目19-1)	⇒ 【見学先②】 虹の夢とば (鳥羽市鳥羽1丁目20-1)	⇒ 鳥羽高校

【3班】・交通手段：ジャンボタクシー2台(10～15名)引率2名

出発	到着/出発	到着/出発	到着
9:00	9:15/10:15	10:30/11:30	12:00
鳥羽高校	⇒ 【見学先①】 伊勢農協鳥羽支店 (鳥羽市岩倉町315-1)	⇒ 【見学先②】 海女乃島荘 (鳥羽市安楽島町1075-100)	⇒ 鳥羽高校

04 「答志島トロさわら」の伊勢神宮内宮奉納

1. 概要

○「答志島トロさわら」につきまして、この度、海の恵みに感謝し、答志島トロさわら漁の永續と海上安全を願うため、鳥羽市・漁業と観光の連携促進協議会として伊勢神宮内宮奉納を下記のとおり執り行う運びとなりましたので情報提供いたします。つきましては、各報道機関の皆様におかれましては、取材等よろしくお願いいたします。

2. 日時

○令和7年11月29日(土)10時頃～

3. 場所

○伊勢神宮内宮

4. 実施内容

○1. 宇治橋前にて奉納品を担いで出発 2. 神楽殿に奉納 3. 垣内参拝 4. 神楽





A large white rectangular area with a light brown border, containing six horizontal dotted lines for writing.



05 第1回市民真珠セミナーの開催

1. 概要

○真珠養殖の発祥の地である伊勢志摩において、生物が作り出す唯一の宝石である「真珠」の魅力を市民の方々に知っていただくためのセミナーを開催します。セミナーでは、真珠の研究者や生産者、流通関係者、博物館学芸員が、それぞれの立場からわかりやすくお話しします。

主 催：伊勢志摩海洋教育研究アライアンス

2. 日 時

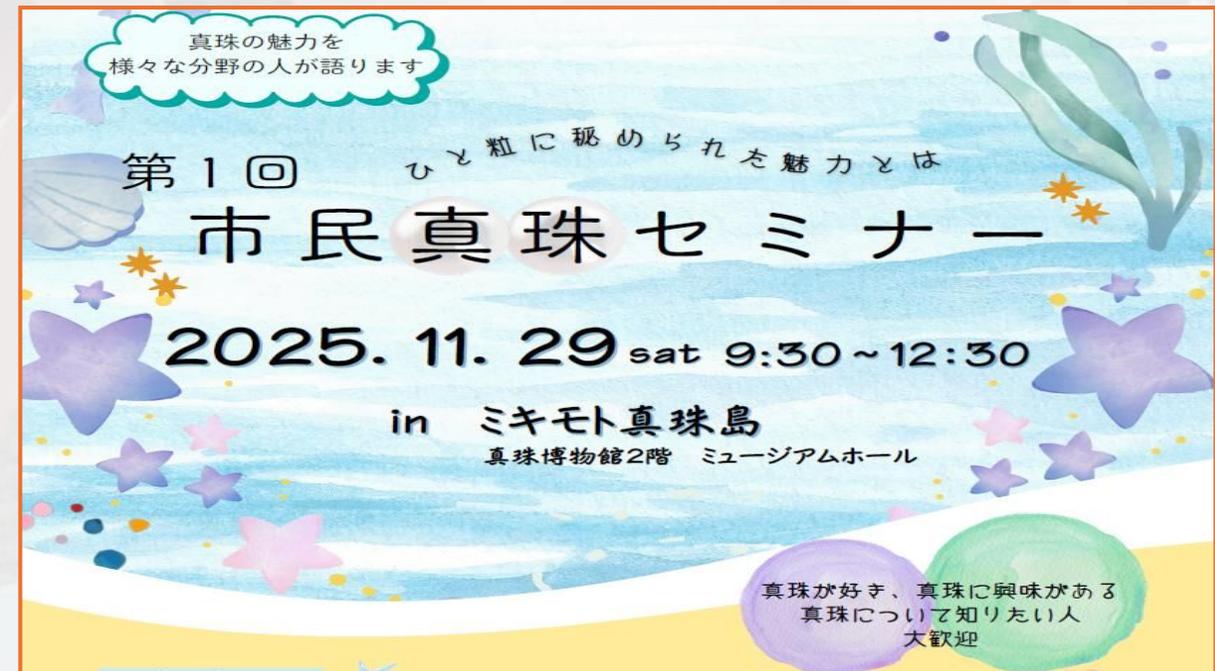
○令和7年11月29日(土)9時30分～12時30分

3. 場 所

○ミキモト真珠島 博物館2階 ミュージアムホール

4. 友好都市交流について

○伊勢志摩海洋教育研究アライアンスとは、教育・研究を通じた地域水産業の発展をさらに推進していくための“地域連携プラットフォーム”の構築を目的として、伊勢志摩地域に立地する水産海洋系教育研究機関が連携し、令和4年10月1日に設立しました。



真珠の魅力を
様々な分野の人が語ります

第1回 ひと粒に秘められた魅力とは 市民真珠セミナー

2025. 11. 29 sat 9:30 ~ 12:30

in ミキモト真珠島
真珠博物館2階 ミュージアムホール

真珠が好き、真珠に興味がある
真珠について知りたい人
大歓迎

プログラム

挨拶：東京大学名誉教授 渡部 終五 司会：前山 薫 技術フェロー（ミキモトグループ）
座長：三重大学教授 船原 大輔

- 「真珠の美しさが地球環境を救う！」／東京大学教授 鈴木 道生
- 「地元阿曾浦の真珠養殖の発展と現在～先人への感謝をこめて～」
／山下真珠養殖 山下 善史
- 「真珠博物館収蔵品から見る宝石・真珠の美しさ」
／真珠博物館学芸員 大河内 西・小崎 清礼
- 「真珠の魅力に取りつかれた世界の人々」
／株式会社ミキモト 真珠研究所 元所長 赤松 蔚

- セミナー参加費無料
- 定員 30名

* 事前申込された方のみミキモト真珠島
の入場料は無料です。
チケット売り場にて事前申込した際の
お名前をお伝え下さい。

主催 伊勢志摩海洋教育研究アライアンス
伊勢志摩地域にある鳥羽高等学校等専門学校、名古屋大学等鳥羽海洋研究所、三重大学大学院生物資源学研究所、水産研究・教育機構水産技術研究所、三重県水産研究所、
鳥羽市（海の博物館、水産研究所）、ミキモトグループ（ミキモト、ミキモト真珠島、御本本製菓）、鳥羽水産館の8機関で組織した海洋に係る教育と研究を共同で推進する組織

後援 三重県・鳥羽市・伊勢市・志摩市・南伊勢町・全国真珠養殖漁業協同組合連合会・三重県真珠振興協議会

周辺マップ



電車 近鉄またはJR「鳥羽駅」より徒歩5分
公共交通機関をご利用の上お越しください

車 駐車場あり（有料）

島内マップ



真珠博物館2階
ミュージアムホール
チケット売り場から徒歩5分



お問い合わせ先
ミキモト真珠島
〒517-8511
三重県鳥羽市鳥羽1-7-1
TEL 0599-25-2028

申込方法 以下のいずれかの方法でお申し込みください

- ①QRコード ②ミキモト真珠島HP
- ③e-mail (mikimoto.pearl.island.museum@gmail.com) ④FAX (0599 - 25 - 1713)

e-mailとFAXの場合は、件名を「第1回市民真珠セミナー」とし、名前(フリガナ)、連絡先(メールアドレス、電話番号)を
明記してください。FAXでは下記の用紙をご利用ください。締め切りは11月28日(金)です。定員に達した場合は先着順で
締め切りさせていただきます。

第1回 市民真珠セミナー
参加申込フォーム【11月29日(土)開催】
申込〆切11月28日(金)



Googleフォーム

フリガナ
お名前 _____

メールアドレス _____

電話番号 _____

個人情報の扱いについて

本申込フォームに記入された個人情報は、本会への参加登録、出欠の確認、参加者様のご意見・ご要望の確認、ご要望に対するための連絡、アンケートの送信、伊勢志摩海洋教育研究アライアンスが主催するイベント等の紹介以外には使用しません。ご本人の同意がなければ第三者に個人情報を提供することもございません。取得した個人情報は管理責任者を定め、紛失や漏洩などが発生しないよう積極的な安全対策を実施いたします。

※この方は下記申込書にご記入の上
矢印方向にご送信ください。

1. 概要

○山田優選手が成し遂げた東京オリンピックでの金メダル獲得や国体に向けて作り上げてきたレガシーを活用し、フェンシング競技の普及発展と次世代を担うフェンサーの育成を目指して開催します。

2. 日時

○【フェンシング大会】

令和7年12月20日(土)・21日(日)

○【チャンバラフェンシング】

12月21日(日) 13時30分～15時00分

3. 場所

○フェンシング大会：鳥羽市民体育館メインアリーナ

○チャンバラフェンシング：鳥羽市民体育館サブアリーナ



4. その他

○今年は松本龍選手(飯野物産株式会社)を招待予定。

○申込人数:106名(申込締切時点)(内訳 カデ男子44名 カデ女子29名 ミニム男子21名 ミニム女子12名)

2025年度 山田優杯 鳥羽・エペフェンシング大会要項（抜粋）

1. 主催 山田優杯 鳥羽・エペフェンシング大会実行委員会
〔構成団体：鳥羽市、鳥羽市教育委員会、三重県フェンシング協会
鳥羽市スポーツ推進委員協議会〕
2. 共催 鳥羽市 鳥羽市教育委員会
3. 主管 三重県フェンシング協会
4. 協力 鳥羽東中学校フェンシング部、鳥羽高等学校フェンシング部
5. 期日 令和7年12月20日（土）・21日（日）
6. 会場 鳥羽市民体育館
〒517-0022 三重県鳥羽市大明東町4-8 電話 0599-25-6215
7. 参加対象 ①カデ男子の部 ②カデ女子の部
(2026年1月1日現在、13歳以上17歳未満の者)
※2009年1月1日～2012年12月31日生まれ
③ミニム男子の部 ④ミニム女子の部
(2026年1月1日現在、13歳未満の者)
※2013年1月1日以降生まれ
※参加資格がミニムになる中学生は、カデへの参加を可能とする。但し、
カデ・ミニムいずれか1種目のみの参加とする。

8. 競技種別
エペ個人戦 ①カデ男子の部 ②カデ女子の部
③ミニム男子の部 ④ミニム女子の部

9. 競技方法
①全カテゴリー予選プール戦5本先取 全員上がり
②トーナメントカデ男女10本、決勝のみ15本勝負
③トーナメントミニム男女7本
※3位決定戦は行いません。
※競技日程に大幅な影響のある場合は得点を変更する場合もある。

10. 競技日程
- | | | |
|-----------|--------|--|
| 12月20日（土） | 9時 | 受付（12時30分まで随時受付） |
| | 10時10分 | 山田優選手・松本龍選手との交流イベント
(2チームに分かれての団体戦) |
| | 12時30分 | 最終コール |
| | 13時30分 | 予選プール（開始前に実行委員会会長のあいさつ） |
| | | 全試合終了後、山田優選手・松本龍選手による対談（予定）
お楽しみ抽選会 |
| 12月21日（日） | 8時 | 会場開館 |
| | 9時 | 試合開始 |

07 第7回 丸興山庫蔵寺参道清掃ボランティア活動

1. 概要

○弘法大師ゆかりの丸興山庫蔵寺(ガンコウザンコゾウジ)について、地元の中学生在が地域の史跡を知り、守っていくことで、郷土愛を育むことを目的に、下記のとおり参道の清掃活動を実施します。

2. 日時

○令和7年12月25日(木) 午前9時～午前11時頃

3. 場所

○丸興山庫蔵寺参道口駐車場(地図参照)～庫蔵寺本堂

4. その他

○対象：加茂中学校生徒と教職員、加茂小中学校運営協議会、鳥羽市教育委員会職員等



場所詳細



タイムスケジュール

時間	活動	取材対応
9:00~10:30	参道入り口から清掃活動開始	○
10:10~11:00	丸興山庫蔵寺・住職のお話	○

08 地域への愛着を基盤とした学校・地域安全モデル事業防災リレー講座

1. 概要

○市では、特定非営利活動法人SEEDS Asiaと「地域への愛着を基盤とした学校・地域安全モデル事業 防災リレー講座」を開催します。
第5回は、「津波からの避難とその後の復旧・復興」と題した講演会です。本講座は、令和7年3月26日に特定非営利活動法人SEEDS Asiaと締結した「鳥羽市の地域と学校の連携による安全の推進に関する協定書」に基づくものであり、全12回開催を予定しており、今回は5回目になります。

2. 日時

○令和7年12月25日(木)13:30~16:45

3. 場所

○鳥羽商工会議所3階かもめホール(オンライン参加も可能)

4. 講師

○講師：及川 幸彦 氏 (奈良教育大学 准教授 学長補佐(特命担当)ESD・SDGsセンター長)

地域への愛着を基盤とした学校・地域安全モデル事業
防災リレー講座
第5回
津波からの避難とその後の復旧・復興
— 気仙沼の子どもたちを支えたものとは (仮) —
おいかわ ゆきひこ
講師：及川 幸彦 先生 博士 (地球環境学)
奈良教育大学 准教授
学長補佐 (特命担当) 兼 ESD・SDGsセンター長
令和7年12月25日 (木)
13:30~16:45 (学校運営協議会円卓会議含む)

地域への愛着を基盤とした学校・地域安全モデル事業

防災リレー講座

第5回

津波からの避難とその後の復旧・復興 — 気仙沼の子どもたちを支えたものとは (仮) —

おいかわ ゆきひこ

講師：及川 幸彦 先生 博士（地球環境学）

奈良教育大学 准教授

学長補佐（特命担当）兼 ESD・SDGsセンター長

令和7年12月25日（木）

13:30～16:45（学校運営協議会円卓会議含む）

<https://forms.gle/UB4D6n8kmjaSnhdr7>



二次元コードからPC、スマホでもお申し込みいただけます

場所：鳥羽商工会議所3階
かもめホール（オンライン参加も可）

申し込みは裏面の連絡先、
あるいは左の二次元コードからお申し込みください

講師プロフィール

ESDの視点から防災・減災、海洋、気候変動などの教育に取り組み、「持続可能な社会の創り手の育成」に向けて、教育の質の向上と教育が果たす役割を研究している。2002年より宮城県気仙沼市を拠点に、地域・大学・国際機関と連携してユネスコスクール加盟やRCE設立などを推進。東日本大震災では学校管理職として危機対応にあたり、教育委員会勤務時にはESDの視点から被災地の教育再生と防災教育改革を主導した。東京大学大学院海洋教育センターを経て、現在は奈良教育大学准教授、ESD・SDGsセンター長として教育研究の質的向上に取り組む。文部科学省・環境省・外務省などのESD関連委員を歴任し、ESD円卓会議議長等として国の施策形成に貢献。2014年からはアクサ・ユネスコ協会減災教育プログラムのコーディネーターとして、全国の教職員を対象に革新的な減災教育の研修プログラムを開発・実施する。認定NPO SEEDS Asia理事。



開催趣旨

南海トラフ巨大地震のリスクに加え、近年は自然災害の激甚化・頻発化や、子どもたちを取り巻く事件・事故の多発など、地域を取り巻くリスクが多様化しています。こうした中で、子どもの安全と安心を守り、そして「ここで暮らし続けたい」という想いをいかに育むか—それは、地域の未来をどう築いていくかという問いでもあります。

第5回目では、東日本大震災において甚大な被害を受けた宮城県気仙沼市を例に、子どもたちの津波からの避難行動や、被災後における教育現場・地域・行政などの協働による復旧・復興の歩みを学びます。気仙沼の子どもたちを支えた「つながり」や「学びの再生」の過程を通して、学校を核とした地域の再生について考える機会とします。

また、今回は鳥羽市内学校運営協議会の円卓会議（公開）と組み合わせた特別プログラムにて実施いたします。

プログラム（予定）

第1部

13:00 開場
（オンラインは13:20開場）
13:30 開始・趣旨説明
13:35 鳥羽市教育長ごあいさつ
13:40 専門家によるご講義

第2部

14:50 夏季研修の報告
15:20 各学校運営協議会
（CS）活動報告

第3部

16:10 パネルディスカッション：
安心・安全なコミュニティづくりに向けた
学校と地域の役割と協働
16:40 諸連絡
16:45 終了

■場所：鳥羽商工会議所3階 かもめホール+オンライン(ZOOM)
■参加費：無料

連絡先・申し込み方法 12月23日（火）〆切

※スマホ・タブレット端末をお持ちの方は、二次元コードから参加申し込みをお願いします
右の二次元コードから（どなたでも）

※二次元コード以外の参加申し込みの場合は、お電話・メールで受け付けます

<電話の場合>

鳥羽市教育委員会 学校教育課

☎1265（電話でお申し込み希望の学校関係者のみ）

鳥羽市 総務課 防災危機管理室

☎1118（電話でお申し込み希望の市民の方）

<メールの場合>

SEEDS Asia鳥羽プロジェクトオフィス

Eメール：mitsuko.otsuyama@seedsasia.orgまで



二次元コードからタブレット端末・スマホでお申し込みいただけます

本講座は、鳥羽市と認定NPO法人SEEDS Asiaが締結した「地域への愛着を基盤とした学校・地域安全モデル事業」に基づく共同事業の一環として実施し、一般財団法人日本民間公益活動連携機構およびジャパン・プラットフォームによる支援を受けています。



【主催】認定NPO法人 SEEDS Asia
【共催】鳥羽市 鳥羽市教育委員会



【主催】認定NPO法人 SEEDS Asia
【共催】鳥羽市 鳥羽市教育委員会



09 令和7年度人権映画祭「ケイコ 目を澄ませて」の上映

1. 概要

○人権意識の高揚及び人権思想の普及を図ることを目的とし、人権映画祭を開催します。

2. 日時

○令和7年12月6日(土) 午後1時開場 午後1時30分開演

3. 場所

○鳥羽市民体育館サブアリーナ

4. その他

○市長あいさつ・鳥羽市障害者互助会長あいさつを実施後、映画を上映します。



入場無料

字幕あり



不安と勇気が背中合わせ。
震える足で前に進む、彼女の瞳に映るもの

©2022 映画「ケイコ 目を澄ませて」製作委員会/COMME DES CINÉMAS

逃げ出したい、でも諦めたくない

ケイコ 目を澄ませて

2022年/日本/99分/監督：三宅 唱 脚本：三宅 唱、酒井雅秋
出演者：岸井ゆきの、三浦誠己、松浦慎一郎、佐藤緋美、中島ひろ子、仙道敦子、三浦友和 ほか

嘘がつけず愛想笑いが苦手なケイコは、生まれつきの聴覚障がい、両耳とも聞こえない。再開発が進む下町の一角にある小さなボクシングジムで日々鍛錬を重ねる彼女は、プロボクサーとしてリングに立ち続ける。母からは「いつまで続けるつもりなの?」と心配され、言葉にできない想いが心の中に溜まっていく。「一度、お休みしたいです」と書きとめた会長宛ての手紙を出さずにいたある日、ジムが閉鎖されることを知り、ケイコの心が動き出す――。

12/6 土

とき 開場 13:00 開演 13:30~
(上映 13:40~15:19)

ところ 鳥羽市民体育館サブアリーナ (鳥羽市大明東町4-8)

申込 不要 (入場無料) ※定員300名

託児 満1歳~未就学児 先着3名程度 ※無料
事前申込が必要です (申込期間 11/1~12/1)

問合せ

鳥羽市役所 市民課 人権・市民交流係
☎0599-25-1126 FAX 0599-26-4325
✉simin@city.toba.lg.jp

鳥羽市社会福祉協議会
☎0599-25-1188 FAX 0599-25-1117
✉soumu@toba-shakyo.or.jp

©2022 映画「ケイコ 目を澄ませて」製作委員会/
COMME DES CINÉMAS

主催：鳥羽市・鳥羽市障がい者互助会 / 法務省委託事業

人権ポスター展を開催します

市内小中学生が描いた人権ポスター170点を展示します。ぜひご覧ください。

とき 11月27日(木)~12月10日(水)

ところ イオン鳥羽店

《令和7年度 特選作品》



鳥羽小学校5年 木下 あさひさん



鳥羽東中学校2年 中井 菜月さん

ひだまりふれあい広場障がい者作品展示会

鳥羽市障がい者互助会では、毎年12月の「障害者週間」に鳥羽市在住の障がいがある方の創作作品や、障がい者福祉事業所製品の展示会を開催しています。

ぜひ皆様お誘いあわせの上、見学にお越しく下さい。参加費無料です。

- 【日時】 11月29日(土)~12月12日(金)
※11月30日(日)、12月7日(日)は休館になります
- 【場所】 鳥羽市保健福祉センターひだまり
1階ロビー、ラウンジにて
- 【問合せ先】 鳥羽市役所 健康福祉課 障害福祉係
☎0599-25-1183 FAX:25-1154
鳥羽市社会福祉協議会
☎0599-25-1188 FAX:25-1117



《鳥羽市障がい者互助会とは》

互助会は、障がい者同士の親睦と理解を深め、社会参加を促進することを目的にさまざまな活動を行っている団体です。
互助会の活動には、障がい者だけではなく、誰もが参加できる行事もたくさんありますので、ぜひ互助会活動に参加してみませんか！
イベントの協力や、行事のボランティア等大歓迎です。

★鳥羽市障がい者互助会年間行事
障がい者互助会総会(6月)、体育祭(6月)、防災デイキャンプ(8月~9月)、
ひだまりフェスタ内での啓発事業(11月)、鳥羽市障がい者の日記念事業(12月)

★全国障がい者週間に講演会や、市民課と合同で映画祭を開催しています。
その他にも、月1回理事会を開催し要請があれば障がい者福祉啓発事業を開催しています。



10 鳥羽市ふるさと納税レビュー投稿キャンペーンの開催

1. 概要

○鳥羽市では、御寄附をいただいた方からの貴重なご意見を今後の返礼品開発・選定に活かすため、「鳥羽市ふるさと納税レビュー投稿キャンペーン」を開催します。

2. キャンペーン内容

1)開催期間・景品

○期間:2025年9月19日(金)～12月31日(水)

※先着500名様へ「鳥羽水族館の人気者 ラッコのメイ氏のしおり」を進呈。

(2)対象者

○ 楽天ふるさと納税で2025年1月1日以降に鳥羽市へ寄附を行い、キャンペーン期間中に商品レビューを投稿してくださった方。

(3)応募方法

【STEP.1】楽天ふるさと納税から鳥羽市の返礼品を探して寄附

【STEP.2】返礼品が届いたら、購入履歴より「商品レビューを書く」をクリックし、レビュー投稿画面で早速レビューを書く

【STEP.3】返礼品のレビューを投稿して応募完了

3. その他

○キャンペーン特設ページURL 楽天:<https://www.rakuten.co.jp/f242110-toba/contents/reviewcampaign2025/>

● 鳥羽市ふるさと応援大使のメイ氏について←

鳥羽水族館のラッコのメイ氏は、愛らしい仕草で多くの人々を魅了している人気者です。令和6年5月には鳥羽市の知メイ度向上に貢献することを目的に鳥羽市ふるさと応援大使に任メイされました。←

←

● メイ氏のしおりについて←

メイ氏に関するグッズとしては、鳥羽市ふるさと納税返礼品として「メイ氏の名刺」等を提供しており、大変ご好評をいただいています。今回のキャンペーンでは、メイ氏を日常の中でより身近に感じていただけるアイテムとして、ぴたっとくっつく「マグネット式のしおり」を、新たにご用意しました。本に挟むと、メイ氏が"ひょっこり"顔を出すデザインになっているのがポイントです。←
お気に入りの本やノート、手帳に…ぜひ、いろんな場所へ連れて行ってあげてください！←

←

三重県鳥羽市 ふるさと納税

レビューキャンペーン

鳥羽市に寄附してレビュー投稿すると先着で

ラッコのメイ氏のしおりをプレゼント!

先着500名様限定

鳥羽市
ふるさと応援
大使

寄附提供: 鳥羽水族館

応募期間 / 2025年9月19日(金)~12月31日(水)

←

11 令和7年11月26日会議提出議案一覧

1. 概要

○今回、提出する議案は、令和7年度補正予算議案として「議案第40号」～「議案第47号」の8件、条例議案が「議案第48号」～「議案第55号」の8件、その他の議案が1件の合計17件を提出いたします。

2. 一般会計補正予算の規模

○一般会計補正予算(6号)においては、2,400万円を計上し、一般会計補正予算(7号)においては、歳入歳出ともに5億2,615万円を計上し、補正後の一般会計予算額は149億7,400万円となります。

3. 一般会計補正予算の主な事業

- 指定避難所である旧桃取小学校校舎が雨漏り等により避難スペースに損傷がみられるため避難所の生活環境改善のため工事費を計上。
- 保育所において3歳以上の主食提供開始に伴う設備整備等の費用や鳥羽磯部漁業協同組合が整備する加工処理施設への補助支援費用を計上。

4. その他

○その他の議案につきましては、「令和7年11月26日会議提出議案一覧」裏面の「令和7年11月26日会議提出議案概要」をご覧ください。





A large white rectangular area with a light brown border, containing six horizontal dotted lines for writing.



12 「離島医療会議」の開催

1. 概要

○島根県海士町の呼びかけで令和4年にスタート。「離島のいまを知り、未来をつくる」をテーマに、急激な人口減少が進む離島地域において、離島や離島医療は今どうなっているのか、これからどうなるのか、離島の未来のために医療者は何ができるか、医師が離島医療に関わる意味は何かについて、医師や医療関係者のほか、地元住民や自治体関係者なども交えて議論する機会を創出し、持続可能な離島医療の在り方を考えるきっかけとする。これまで海士町で3回開催されてきており、全国での巡回開催を検討する中で、令和7年度は鳥羽市で開催することとなった。

2. 日時

○令和 8年 1月31日(土)14:00～17:30(予定)
※参加者によるフィールドワークを、前後の令和8年1月30日(金)PMと
令和8年2月1日(日)AMで検討中

3. 場所

○鳥羽マリンターミナル(予定)
フィールドワーク 答志島、神島等、本市のいずれかの離島地区(予定)

4. 内容

○医療関係者や地域住民、自治体関係者などが参加予定であり、現地ゲストとして50名程度のほか、オンライン視聴で500名程度を想定



メインテーマ: 離島のいまを知り、未来をつくる

- 地域の衰退には「臨界点」がある。「学校」がなくなると子育て世代が出ていき、「病院」がなくなると全世代が出ていってしまう。地域医療は地域存続の要である。
- 急激な人口減少が進む離島地域において、離島や離島医療はいまどうなっているのか、これからどうなるのか、離島の未来のために医療者は何ができるか、医師が離島医療に関わる意味は何かを議論したい。

実施概要

日時	2025年1月31日(土) 14:00~17:30	共催	鳥羽市・アンター・離島経済新聞社・風と土と
会場	三重県鳥羽市(答志島・神島等)	後援	厚生労働省、国土交通省、内閣府等を予定
開催形式	鳥羽市より、オンライン配信 (Zoom)	協賛	医療関連企業、学会/団体を予定
開催規模	オンライン視聴500名+現地ゲスト50名	【企画中】 オプションツアー <small>*参加費有料</small>	対象: 開催現地参加者、登壇者、ゲスト 内容: フィールドワーク、視察ツアー
参加者	医師・医療関係者・自治体関係者など		
参加条件	視聴無料・事前申込制		

企業版ふるさと納税で鳥羽商船高等専門学校を応援しよう

鳥羽商船高等専門学校 教育・研究環境の整備と学生支援プロジェクト

1. 概要

○鳥羽市では、地域活性化と持続可能なまちづくりの推進を目的に、「企業版ふるさと納税」を活用した官民連携による地方創生事業を進めています。本制度では、市内の事業者や団体が地域課題の解決につながる事業を自ら提案し、企業からの寄附を受けて実施する仕組みであり、民間の創意工夫を活かした地域活性化を図るものです。このたび本制度を活用し、鳥羽商船高等専門学校の教育・研究環境の整備および学生支援を行うプロジェクトを実施することとなりました。鳥羽商船高専は、海洋産業や工学分野を担う人材育成の重要な拠点であり、本プロジェクトを通じて次世代の技術者育成と地域産業の発展に寄与することを目指します。

2. 日時

○寄付受付期間:令和7年11月から(随時受付)

3. 主な取組内容

- ・海洋産業解決への取組 ・農業課題解決への取組
- ・ICT・AI活用による中小企業支援 ・ICT教育環境の充実
- ・鳥羽丸を活用した取組 ・グローバル教育

4. その他

○本市プロジェクトのご支援方法について
下記ホームページの専用フォームまたはQRコードから寄附のお申込が可能です。

【鳥羽市ホームページ】https://www.city.toba.mie.jp/soshiki/kikaku_keiei/gyomu/furusato/8449.html





National Institute of Technology, Tobu College
 鳥羽商船高専の
 特色ある取組へ
 ふるまと納税を
 活用しませんか



鳥羽市で唯一の高等教育機関である鳥羽商船高等専門学校は、地域課題解決への貢献や新産業を「モノ・コトづくり」を活かして活躍できる人財育成を行っています。

ぜひ鳥羽市企業ふるまとなし納税にご賛同いただき、鳥羽市、日本、世界で活躍する人財育成にご支援ください。



海洋産業課題解決への取組
 マリンITを活用した水産加工・流通・消費の最適化に向けた研究を行っています。



ICT・AI活用による中小企業支援
 ICT・AIを活用した最新技術研究で中小企業への支援活動を行います。



鳥羽丸を活用した取組
 令和9年度に竣工された最新鋭船を新造した鳥羽丸で海洋研究を行います。



鳥羽商船課題解決への取組
 DX技術により、鳥羽商船の生産・流通・消費の最適化に向けた研究に取り組んでいます。



ICT教育環境の充実
 学生が最先端の環境で教育・研究ができる環境を整えます。



グローバル教育
 その他、グローバル教育に注力し、国際的に活躍できる人財育成を目指しています。



A large white rectangular area with a light brown border, containing six horizontal dotted lines for writing.

